



サービス向上委員会活動

サービス向上委員会は、松岡先生を委員長とし、各部署からの代表者で構成されていて総勢17名が集まり活動しています。

私たちはサービスの向上を目指し、外来での待ち時間調査や、入院中に関するアンケート等を行い、安心して気持ちよく皆様が治療や入院生活が送れるよう改善に努めています。

そして、もう一つの活動として年2回、皆様に季節感をお届けしたく7月の七夕、12月のクリスマスの行事を行なっています。

ほとんどが手作りの作品で、病院の玄関ホールに飾付けを行なっています。

外来受診の方や入院されている方、面会にこられた方々皆様が、ホッとする温かい場所、気持ちが安らぐような場所を少しでも提供できたらと思っています。

今年は、大空を元気に泳ぐ鯉のぼりのように皆様が元気に過ごされますようにとの思いで、鯉のぼりを作りました。作っていた私たちも楽しかったですが、皆様にも楽しんでいただければ更に嬉しく、また頑張ります。



平成22年度病院方針

病院長

社会保険病院は？

平成20年10月 健康保険協会発足

平成22年1月 RFOに出資

平成22年10月 日本年金機構発足

平成22年10月 RFO解散予定が延期

平成23年4月 地域医療機能推進機構設立

平成25年4月 地域医療機能推進機構直接運営

地域医療機能推進機構
社会保険病院グループ
厚生年金病院グループ
船員保険病院グループ

医療を取り巻く変化

3グループの病院を統合して
新ルールで運営

医療を取り巻く変化

地方の病院は
医療費抑制政策
人不足↓病院機能不全
卒後臨床研修制度↓医師不足
7対1看護基準↓看護師不足
6年生大学↓薬剤師不足

二本松病院としては

(1)地域社会への貢献

①4疾病5事業への取り組み
・がん・脳卒中・心筋梗塞
・糖尿病・救急・災害時
・へき地・周産期・小児医療

地域連携

これからの地域医療機能推進機構の中で、地域の中小病院が活躍するために最も重要

(2)超高齢社会に向かっている政策

・大病院からの術後のリハの
為

(6)地域のあらゆる連携の核となる

①病院、診療所

②介護老人保健施設(老健)

③特別養護老人ホーム(特老)

④小規模多機能ホーム、グループホーム

⑤障害者のホーム

⑥訪問看護ステーション

⑦居宅介護支援センター、事業所

⑧行政(社会福祉協議会)

(7)後方支援病院となっている施設

①サンビユー二本松(老健)

②あだたら(老健)

③しらさわ有寿園(特養)

④みどりの郷(特養)

⑤オハナハウス(認知症ホーム)

⑥クレヨンハウス(知的障害者ホーム)

(8)地域連携病院

①急性期医療の連携

住民、在宅、施設からの入院医療

②救急医療の連携

救急指定として一次、二次救急医療

③急性期後の連携

リハビリ

④在宅療養との連携

訪問看護やMSWを介して在宅への移行

(9)安定経営

①収入増

入院、外来患者数の維持

病床利用率75%(120人)以上

平均在院日数 17日以下

・健診事業の維持拡大

②支出減

・適正で効率的な人員配置、物品管理

平成22年度病院目標

・患者満足度向上

・業務の改善

・人材育成

・地域連携への貢献

(1)患者満足度向上

①安全な医療

②良質な医療

③開かれた医療

④納得の医療

⑤親切で丁寧な接遇

(2)業務の改善

①業務の効率化

業務の分析、部門内問題点、標準化、単純化、人員配置、物品の変更

②経費削減

節約術

③収入増対策

人材育成

(3)人材育成

①研修計画

・技術向上、専門性向上の教育

・その意欲を向上させる教育

②資格取得計画

・認定○○、専門○○、指導○○

③社会的常識人育成(人間教育)

・協調性、積極性、倫理性

(4)地域連携への貢献

「互いが満足できる円滑な連携」

①在宅医療から入院医療へ

②施設介護から入院医療へ

③大病院から転院入院加療

④入院医療から施設介護や在宅医療へ

⑤当院から基幹病院への転院

各部門への期待(注文)

病室

・病院医療のリーダー

・4疾病5事業への対応

・プライマリケアと専門性の両立

・症例検討とレビュー

・経営者の一員

・地域連携への理解

(1)内科

①生活習慣病・メタボ対策

糖尿病、高血圧、CKD

②がん診断

胃がん、大腸がん診断、内視鏡治療

③呼吸器疾患

肺炎、COPD、肺がん化学療法

④栄養対策

胃ろう造設

(2)外科

①がんの診断、手術、化学療法、在宅療養連携、ターミナルケア、胃がん、大腸がん、乳がん、肝臓がん、他

②他の消化器疾患に対する診断、治療、胆石症、急性腹症、イレウス、アッペ、

③他にヘルニア、痔疾患、甲状腺疾患

(3)泌尿器科

①泌尿器がんの診断、治療

前立腺、膀胱、腎、精巣

②尿路結石治療ESWL

③前立腺肥大、尿失禁に対する治療

(4)透析医療

糖尿病性腎症、内科(CKD)との連携

(4)産婦人科

①妊娠から周産期医療

流早産、分娩、帝切、新生児、

不妊—安達地区産科病診連携
②婦人科がんの診断、手術、化
学療法

子宮頸がん、子宮体がん、卵
巣がん

③良性疾患の治療
子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣
腫瘍

(5)皮膚科

①悪性腫瘍の診断治療
皮膚がん、黒色腫、ボーエン
病

②皮膚良性腫瘍

③皮膚移植術

④熱湯

⑤蕁麻疹、皮膚炎、湿疹

看護局

看護の質の向上と患者満足度向
上—退院調整などでMSWと連
携の要

・看護教育委員会

・看護研究委員会

・看護過程委員会

・看護業務改善委員会

薬剤部

・調剤

・服薬指導

・薬品管理、共同購入

・治験

・リスク管理

・感染管理

・NST

・安全な化学療法

検査部

・検査精度管理

・機器管理

・輸血業務管理

・感染管理

・健診業務

・生理検査の拡大

・採血業務

放射線部

・放射線の安全管理

・機器の管理、破損防止

・CT、MRIの稼働率向上

・受託検査の積極的取り組み

—地域連携室と

・健診業務

—チーム医療

理学療法部

・患者へ計画的、継続的なりハ
ビリ

・サンビユー、ステーションと
の連携

・訪問リハの取り組み拡大

・地域への運動療法の啓蒙

・特定保健指導の取り組み

栄養課

・食の安全、衛生管理の徹底

・食の楽しみの提供（選択メ
ニュー、調理技術）

・栄養指導の徹底

・NST活動の拡大

・特定保健指導のリーダー

ME課

・透析機器の安全保守点検

・透析業務の安全管理

・透析患者の満足度向上対策

・生命維持装置の稼働と保守点
検

・その他の医療機器の管理

・医療機器安全使用の研修会開
催

庶務、経理、施設課

・院内外の総合窓口としての機
能向上

・施設安全管理

・材料の購入価格管理

・ホームページの充実

・病院の財産資産管理

医事課

・病院窓口機能の向上

・適正なレセプト作成

・査定減対策

・診療報酬改定の対応、提言

—地域連携室、相談室

・院外の施設、人との円滑な連
携

・病院全部門との連携

・交渉活動

・退院調整機能の強化

・医療相談

・クレームの（初期）対応

診療情報室

・病歴管理、病歴統計業務、
DPC運用での適切なコー
ディング

・医局、病棟看護師、医事課と
の連携

・病院間比較統計からの提言

・データの安全管理と迅速な報
告

・特定健診、特定保健指導の実
施

・健診データの統計処理サービ
ス

・安全運転、満足の健診

・24時間体制を生かし業務拡大
在宅療養診療所へのアピール

・業務の効率化

・訪問リハとの連携

・退院調整への関わり（地域連
携室、病棟）

・サンビユー二本松との連携

・老人保健施設の現状や機能の
理解

・看護師間の円滑な情報交換

・適切でスピーディな患者移
動、

・お互いの役割を理解
最後に
22年度もこの地域の皆さんに
安心を提供し、そして職員みんな
がいきいきと楽しく働ける、安定
経営の二本松を目指し、頑張りま
しょう。

皆さんのご理解と協力を、お
願いいたします。

事務局長

基本的な考え

・医療収益の大幅な減が続く中
での病院経営

・独立行政法人化に対応できる経
営の安定及び組織の充実

・診療報酬改定に伴う的確な対
応・実施

・特定健診・特定保健指導の強化
実施

・国の制度改革に対する的確な対
応

1 診療体制の充実対策

(1) 病院機能・施設基準の取得、改
正の予定

①診療科の特化による収益向上

②二次救急医療体制の強化

③診療圏内介護施設の後方支援
病院の位置付強化

④地域医療連携強化による診
療所、隣接病院との連携及び
開放病床提供の検討

⑤医師不足診療科及び常勤医不
在診療科の対策

(2) 施設整備等の充実対策

①医用画像情報システムの導入

②電子カルテ、オーダーリング
システムの導入に向けた検討

③腎センターの拡充整備による
機能強化

(3) その他

①健康管理センターにおける特
定健診・特定保健指導の強化

②卒後臨床協成力病院として研
修指導医の育成

2 患者サービス強化対策

①医療有害事象対応指針を含め
た医療安全対策の強化

②医療、介護福祉、保健予防の
連携に基づく地域密着型病院
としての機能強化

③医療機器の有効活用を図るた
め地域医療機関への開放

④在宅医療在サービスの充実及
び利便性の向上

⑤連続休日期間における外来診
療の実施

⑥開院記念祭及び出前講演等
による地域への予防医学の啓蒙

⑦休日における健診・保健指導
の実施

3 職員の研究、研修計画

①学術委員会の計画に基づく院
内研修会の開催

②院内学会の開催

③社会保険医学会及び各種学会
への参加

④各種専門資格の取得支援

⑤部局・部署別学習会の定期開
催

4 業務効率の増進、簡素化

①院内ラン活用による情報の共
有と効率化の推進

②適材適所の人材配置及び計画
的採用による人件費コストの
削減

5 その他

①評価制度の精度向上による人
事考課の推進

②病院HP・地元メディアを媒
体とした情報の発信

③各種養成校の実習生受け入れ
具体的な重点事業

1 収益の確保

①病床利用率を高める（患者の確保）

②地域医療連携室を強化発展させることにより医療、福祉の充実を図る

③地域住民のニーズに応える体制確立

④健診・ドック受診者の確保

⑤中期の将来構想及び「新経営改善3ヶ年計画」の策定、実施

2 経費の削減

①医療用消耗品、事務用品の節減

②医薬品の共同購入（品目の追加）

③購入価格の段階的値引き交渉

④コスト管理の徹底

⑤購入手続の遵守

3 人材の育成

①管理者（基幹職員以上）のリーダーシップ

②報告・連絡・相談の徹底（何を誰に）

③情報の伝達及び的確な受信

4 部門間の連携

①情報の共有化

②部局・部署を超えた横断的な連携

最後に

1 独立行政法人地域医療機能推進機構法に対応できる経営の安定

2 独立行政法人地域医療機能推進機構法の目的を果たす意識の高揚

3 地域及び病院の特色に合わせた病院づくり

4 今までのやり方を変える勇氣、常に見直しし改革・改善をする

看護局長

看護局理念と方針

1 看護局理念

医療人としての倫理的感受性を高め、地域から信頼される病院を目指す

2 看護局方針

(1)安全・安心の看護を提供する
(2)道徳的信念と倫理的配慮を持つて接する

(3)地域医療連携システムを整備し定着させる

(4)職種間の協同により看護の質向上を目指す

目標

1 安全確認行動に責任を持つ
1インシデント報告と改善
報告件数全体の8割前後が看護局

(2)誤薬と転倒・転落防止策の再考
(3)マニュアルと手順書の修正

(4)ICT・褥瘡対策委員会活動
(5)医療安全対策ラウンドの実施

(6)NST活動
摂食、嚥下リハビリテーション

(7)災害対策チーム活動
看護要員分布調査

2 倫理綱領に基づいた看護を実践する

・倫理・医療専門職の道徳的信念や実践を示すもの
・看護は人がその人らしく生きることを支える仕事であり、看護師は患者・家族の擁護者

3 看護の個性が見える記録を

・安全確認行動に責任を持つ
1具体的行動マニュアル作成
2 倫理綱領に基づいた看護を実践する

3 看護の個性が見える記録をする
4 向上心を持ち、最新の知識・技術の習得に努力する

する
(1)看護過程委員会による記録監査の実施

①倫理的配慮のある記録
②個性が見える記録
③責任のある記録

(2)退院調整プロセスの理解と効果的な調整

①院内連携・院外連携カンファレンス

(3)退院後のモニタリング

①地域医療連携に関する課題の整理

②看護や介護に関する出前講演
③向上心を持ち、最新の知識・技術の習得に努力する

①委員会やチーム活動の充実
②職種間業務の理解

接点業務の検討（看護係長会）・見学実習

③看護学生の臨地実習指導
4校にキャンパス提供・全病棟実習受け入れ

④新人プリセプター制度での育成

⑤中途採用者の教育制度の見直し

⑥中堅看護師の教育プログラム作成

看護目標

1 安全確認行動に責任を持つ

2 倫理綱領に基づいた看護を実践する

3 看護の個性が見える記録をする

4 向上心を持ち、最新の知識・技術の習得に努力する

栄養課より

ためしてレシピ!

めかじきと卵の中華炒め

強火で卵を一気に流し入れ箸で大きく混ぜて
柔らか半熟卵を作るのがポイントです。

*作り方

- めかじきを一口大に切って、塩、こしょうを少々ふって小麦粉を薄くまぶしておきます。レタスを大きめにちぎっておき、卵は溶いておきます。
- フライパンにサラダ油を適量入れ強火で熱した所に、卵を一気に流し入れ、菜箸で卵全体を大きく混ぜ、半熟状になったら一度取り出しておきます。
- 再度フライパンに、サラダ油・ごま油を適量入れ強火で、めかじきを両面にこんがり焼き色がついたら、オイスターソース・醤油・酒を各大さじ1を入れ、レタス、卵を戻し入れて、手早く混ぜ、火を止めて出来上がりです。



*材料 4人分

海老	8尾
卵	4個
めかじきの切り身	小4切れ
レタス	1ヶ
オイスターソース・塩・こしょう	
小麦粉・サラダ油・ごま油	
醤油・酒	各適量

新人紹介



外科医師

津田 守弘

所属名：外科

出身地：茨城県

趣味：写真、温泉

好きな言葉：努力

抱負：私は、平成19年4月から20年3月まで当院に勤務させていただきました。その後、太田熱海病院、福島医大勤務を経て、本年4月より、再び当院に勤務させていただくことになりました。二本松市はたいへん住みやすいところであると感じております。今後とも、何卒、よろしくお願いたします。



作業療法士

大内 秀和

所属名：リハビリテーション科

出身地：二本松市

趣味：水泳、映画鑑賞

好きな言葉：石の上にも三年

抱負：当病院は地元の病院ということとで愛着があり、そこで働けることは感慨深いです。日々勉強の姿勢を忘れず、研鑽を積んで行きたいと思っておりますので皆様どうぞ宜しくお願いいたします。



運転手兼事務員

本間 一

所属名：健康管理センター

出身地：福島市

趣味：読書 ウォーキング

好きな言葉：初心忘るべからず

抱負：4月1日より採用になりました

本間 一です。

平成6年から、いわき市にて健康診断の業務に携わっております。

長年中通りを離れていたせいもあり、健診先への道が分からず四苦八苦しております。

一日も早く仕事を覚え、地域のため、そして病院の歯車として一生懸命努力していきたいと思っております。宜しくお願い致します。



看護師

佐藤 綾子

所属名：3階病棟

出身地：二本松市

趣味：フルマラソン

抱負：早く職場に慣れて仕事ができるようになりたいです。楽しく元気に頑張ります。



看護師

安齋 早苗

所属名：4階病棟

出身地：二本松市

趣味：音楽鑑賞・読書・ドライブ

好きな言葉：二期一会

抱負：今年1年は皆さまにご迷惑を多くかけると思いますが、なまりや方言をまじえながら自分なりに頑張りますのでご指導等よろしくお願いたします。



看護師

鳴原 碧

所属名：5階病棟

出身地：本宮市

趣味：料理、美味しいものを食べること

好きな言葉：一個いいことがあったら、

二個何かをがんばろう(ベッキ)

抱負：外科分野は初めてなので、新人に戻ったつもりで頑張ります。



平成22年度永年勤続者

勤続30年

佐藤 さと子 (外来・看護師)

高場 洋子 (3階・看護師)

国分 美智江 (検査部・臨床検査技師)

高野 美紀子 (4階・看護師)

勤続20年

西塚 吹子 (5階・看護師)

篠塚 佐智子 (腎センター・看護師)

大平 美奈 (医事課・事務員)

小野 良彦 (検査部・臨床検査技師)

佐野 務 (検査部・臨床検査技師)

佐藤 昭蔵 (健康管理センター・技能職)

大内 有由美 (薬剤部・薬剤師)

菅野 稔 (放射線部・診療放射線技師)

高橋 哲也 (健康管理センター・事務員)

大平 貴智 (健康管理センター・事務員)

安斎 愛子 (4階・看護補助員)

柳沼 健之 (内科部長)

二階堂 陽子 (4階・看護師)

斎藤 恵美 (5階・看護師)

勤続10年

斎藤 恵美 (5階・看護師)

フォトギャラリー

ボクの名前は、手塚まる（♂）生まれて四ヶ月になります。手足が白いのトレードマーク、まるでソックスを履いている様でしょうか？耳はまだ垂れているけど大人になったらもっとかっこよくなり、大きな声でお話することもできる様になります（ワン）。

今、週2回犬の幼稚園（ドックトレーナー）に通い勉強中です。覚えることは沢山あるけど、たのしい～よ。

3階 手塚 幸子



転倒予防教室開催

筋力アップ・バランス向上で 転倒を予防しよう

日時 22年5月29日（土）
場所 サンビュー二本松1階
レクリエーション室
時間 午前9時00分～（約40分程度）
参加費 無料
※当日は、タオル・靴をご用意ください



人事異動

採用局 (4/1付)

・医 津田 守弘

・理学療法士 奥山 高司

・作業療法士 大内 秀和

・運動手兼事務員 本間 一

・看護師 安齋 早苗

・ 佐藤 綾子

・ 嶋原 碧

・ 杉島由美子

・ 渡辺 由紀

・ 再雇用 (4/1付)

・ 事務員 丹治 雅和

常勤嘱託 (4/1付)

・大森 勝壽 老健施設長

・猪狩 明 事務局長業務担当

・猪岐 隆夫 庶務課長業務担当

◆ こんにちは赤ちゃん ◆

・管理栄養士 玉造 恵 (4/16女兒)

お知らせ

今年度の「あゆみ」より、院内の委員会活動内容のお知らせや、職員による写真撮影で自慢のペット、風景などを写真におさめフォトギャラリーとタイトルも変え気分新たにスタートしました。どうぞご覧下さい。

編集後記

新採用職員の患者様に接する笑顔を見ていて、はたと、勤続〇〇年の自分を省みました。

笑顔はほほえみが及ぼす効果には、計り知れないものがあります。

ほほえみを生み出すのにさほど時間はかかりませんが、もらった人は、生涯忘れ得ぬ記憶を持ち続けることもあります。

今年度の院内行動規範は笑顔・真心・思いやりです。

かのマザー・テレサ曰く「大切なのは、どれだけたくさんのかんがえや偉大なことをしたかではなく、どれだけ心こめたかです。」マザー・テレサの足元には及びませんが、業務に追われる毎日を反省しつつ、初心を思い出し笑顔をもって真心、思いやりの心をこめていきたいと思う今日この頃なのでした。

(A・O記)